

安心・安全な学校をめざして

県立小出特別支援学校 保健室 近藤 佳代子 山口 貴子

課題



・周囲の大人に言われて手洗い・うがい・歯みがきをしているが、自分から進んで行うところまでは、まだ身に付いていない。



・基礎疾患をもつ児童生徒が多く、一人ひとりの疾患の理解と活動上での注意を把握することがまだ不十分である。

ねらい・目標

・子供たち一人ひとりが自分の身体に関心を持ち、自分の身体を自分で守るという意識がもてるようになる。

・職員の医学的知識が向上し、教育活動をより安心安全に行うことができる。

主な取組内容

啓発活動

- 職員用保健だより
- 校内マニュアル作成
 - ・心肺蘇生
 - ・頭部打撲
 - ・てんかん発作
 - ・食物アレルギー
 - ・誤飲・異食
 - ・嘔吐・下痢処理
- 研修
 - ・緊急時対応訓練



- ・学校安全研修(年3回)
- ・食物アレルギー研修
- ・てんかん研修



保健指導

- 歯みがき指導



- 保健だより
- 肥満指導
 - ・体重測定
 - ・げんき通信
 - ・ダンスエクササイズ



- 感染症予防
 - ・緑茶うがい運動
 - ・予防法指導



教材・教具の工夫

- 検診手順カード
- 処置絵カード

検診や処置をする時
見通しがもてるように

- 痛みスケール
- 症状絵カード

自分の状態を自分で
伝えられるように

- 歯みがき歌
- 歯みがき教材



毎日の歯みがきが楽しく、
効果的にできる
ように

成果と課題



- 手洗い・うがい・マスク・換気等感染症予防の習慣がついてきている。
- 検査・処置の見通しがもてたことで、恐怖心の軽減につながった。
- △「自分の身体を自分で守る」という意識までは、まだもてていない。
学級と連携し、継続した指導と活動が必要である。



- 啓発活動をすることで、児童生徒個々の疾患の理解が深まった。
- △児童生徒個々の実態に合った指導やかかわりをより充実させる。